

下呂市の予算

平成31年度一般会計

212億4,000万円

特別会計・公営企業会計を含めた総額

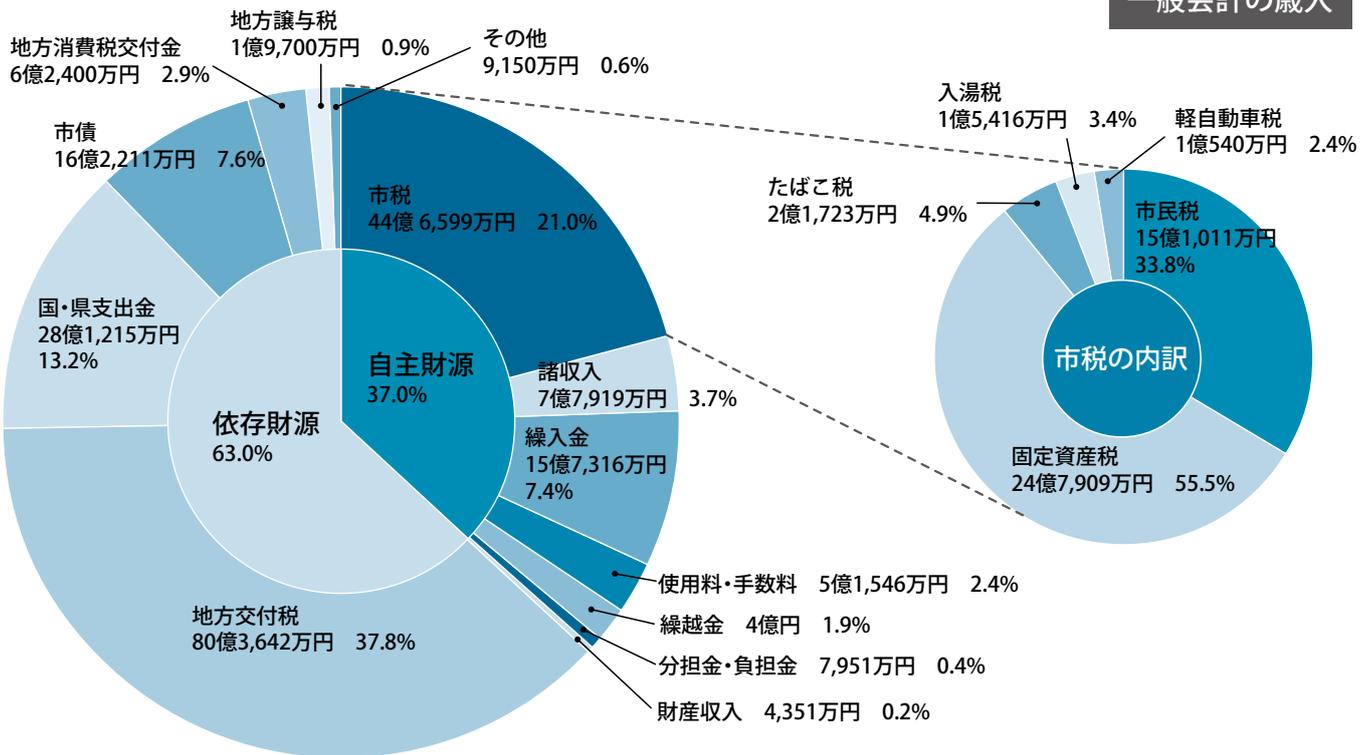
356億1,862万円

予算のポイント

新クリーンセンター、北部学校給食センター、下呂庁舎の整備などの大型建設事業が一区切りとなったことから、平成31年度の予算額は5年ぶりに減額し、災害復旧費を除きほぼ平年並みの規模となりました。

下呂市の最上位計画である第二次総合計画の積極的な推進と、市民の安心・安全のため、「まちづくりは人づくり」を基本理念に「若い人や女性が

一般会計の歳入

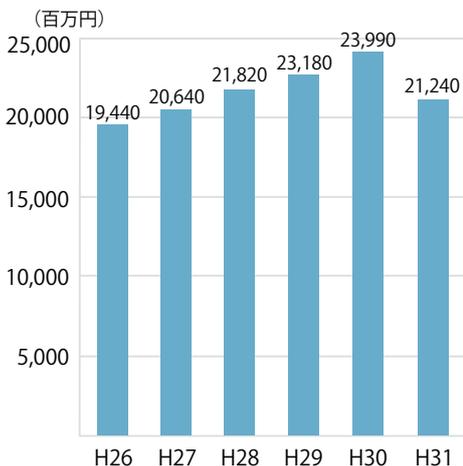


●特別会計・公営企業会計 当初予算

(単位: 万円)

	H31年度	H30年度	増減額	増減率
国民健康保険事業 (事業勘定)	377,560	375,156	2,404	0.6%
後期高齢者医療	50,809	50,658	151	0.3%
介護保険 (介護サービス事業勘定)	23,171	20,704	2,467	11.9%
介護保険 (保険事業勘定)	344,777	346,267	-1,490	-0.4%
簡易水道事業	0	83,460	-83,460	-100.0%
下水道事業	222,296	242,730	-20,434	-8.4%
国民健康保険事業 (診療施設勘定)	27,358	29,420	-2,062	-7.0%
下呂財産区	286	240	46	19.2%
学校給食費	15,876	15,238	638	4.2%
小計	1,062,133	1,163,873	-101,740	-8.7%
水道事業	175,933	32,832	143,101	435.9%
下呂温泉合掌村事業	25,779	27,680	-1,901	-6.9%
金山病院事業	174,017	166,387	7,630	4.6%
小計	375,729	226,899	148,830	65.6%
合計	1,437,862	1,390,772	47,090	3.4%

●一般会計当初予算の推移



※簡易水道事業は平成31年度から水道事業に統合されました。

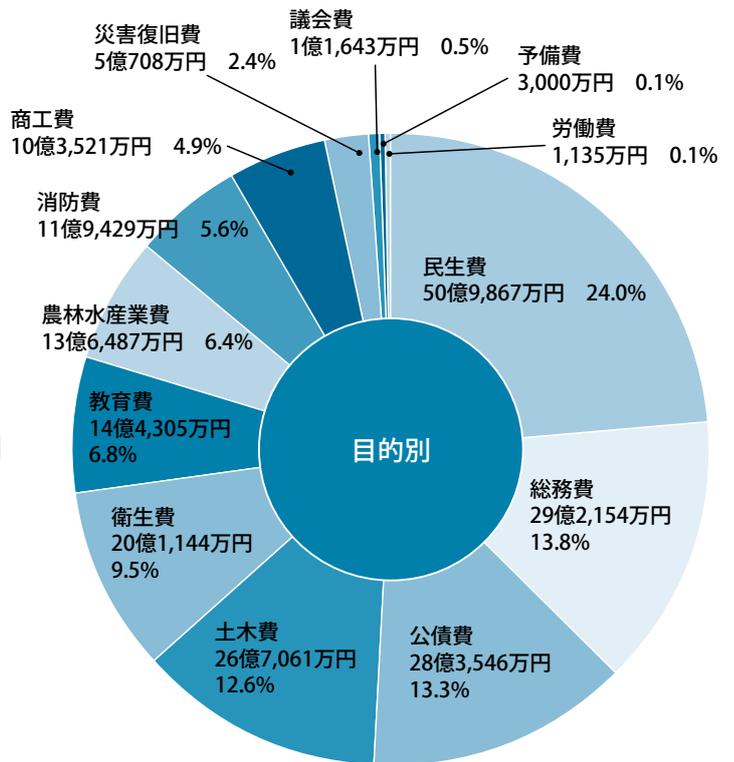
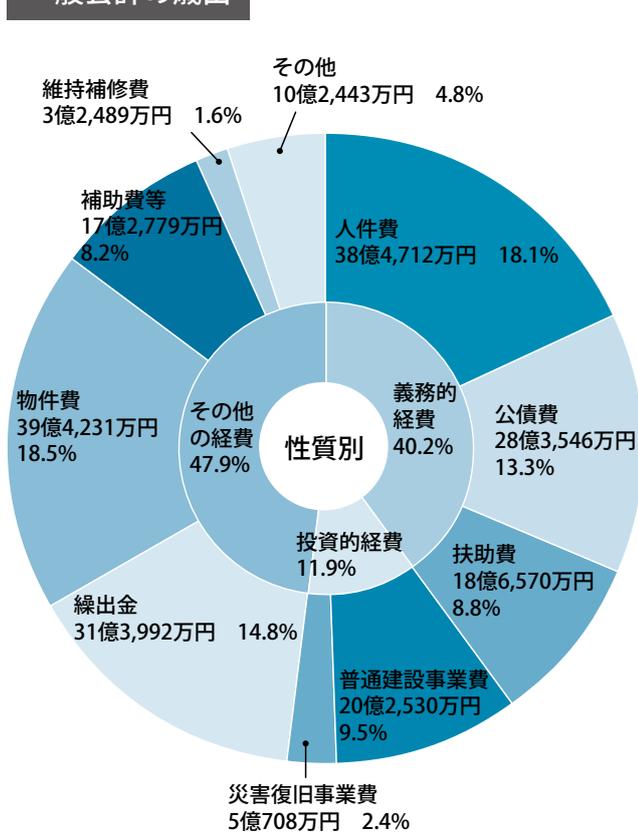
輝き高齢者の笑顔あふれるまち」、「地域の融和と伝統あるまち」、「交流から生まれる活気あるまち」、「防災力で安心して住めるまち」の4つの基本政策の実現、キーワードである「健康」に加え、これまでの施策を総点検するとともに、その施策をつなぎ紡いで未来の下呂市に「つなぐ」年度となるよう行政運営を行います。

平成30年度には市制発足以来、経験したことのない大きな災害に見舞われたことから、まずは被災箇所の復旧に全力を注ぐとともに、災害に強いまちづくりを第一に施策を進めます。

また、人口減少が急速に進む中、医療費や介護費といった社会保障費の負担を軽減するため、健康寿命の延伸につながる各種施策を進めていきます。

下呂市が抱える喫緊の課題に早急に対応するため、堅実な財政計画のもと、基金・市債の有効活用により4つの基本政策を柱に今必要な事業を着実に進めていきます。

一般会計の歳出



市民1人当たりの予算 **654,848円**
(人口は平成31年2月末現在 32,435人)

用語解説

歳入	1年間の全ての収入
自主財源	自前で収入できるお金
依存財源	国や県から交付されたり借り入れたりするお金
繰入金	各種基金を取り崩して繰り入れるお金など
地方交付税	所得税など国が徴収した税金の中から、市町村の財政規模に応じて配分されるお金
市債	公共施設の建設など、市が一度に多額の出費が必要な場合に認められる長期の借入金
国・県支出金	国や県の決めたルールにあった市の事業に対して国や県が交付するお金
地方譲与税	国が徴収した自動車重量税などから配分されるお金

歳出	1年間の全ての支出
義務的経費	法令あるいは性質上、支出が義務付けられた経費
投資的経費	道路や建物の建設、用地の購入など市民の財産として将来に残るものに支出されるお金
公債費	借り入れた市債の返済に充てるお金で、元金の返済金とその利息
扶助費	生活保護費や障がい者への援助費など
物件費	委託料や使用料、光熱水費、消耗品費など
繰出金	特別会計へ繰り出すお金
補助費等	各種団体への補助金や交付金、保険料、謝礼金など
維持補修費	施設や道路などの維持補修にかかるお金